

特異な発光と光増感作用を示す ロタキサン型色素の創製



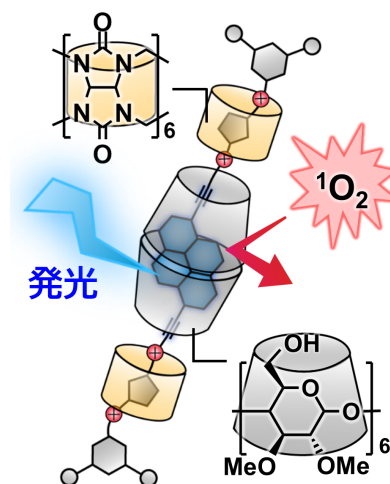
大石 雄基 先生

富山大学 学術研究部 薬学・和漢系・講師

研究室 HP



機能性有機色素は、光を利用した生体機能の解析や治療への応用が期待されているが、その開発において水溶性と安定性の低さが課題となることが多い。大石らは、有機色素のこれらの課題をシクロデキストリン誘導体への封止によって解決したロタキサン型色素の開発を行っている。本講演では、ロタキサン型色素の円偏光発光色素や光治療薬への展開について紹介する。



最近の論文

Y. Ohishi *et al.*, *Adv. Opt. Mater.* **2024**, 12, 2301457.

K. Nishioki *et al.*, *Chem. Sci.* **2025**, in press. DOI: 10.1039/D5SC06304C

Y. Ohishi *et al.*, *ACS Appl. Bio Mater.* **2024**, 7, 6656–6664.

問い合わせ先

理学部化学コース 有機化学研究室

高瀬 雅祥 (内線 9610)